



車内の金城学院大学

103限目

「ユニバーサルデザイン論」

「色の見え方は人それぞれ？」

〔色覚の多様性〕

私たちの「ものを見る」という機能は主に「視野」「視力」そして「色覚」によって支えられています。視野は見える範囲、視力は物体を識別する力、色覚は色彩を識別する感覚と言えます。実はこの色覚には先天的な多様性があり、色覚によっては「赤」と「緑」が識別しづらかったり、くすんで見えることがあり、全ての人と同じように色を見ているわけではないのです。このような色覚の多様性に対応するために、最近ではペンや服など、色を選んで購入する商品には色の名前が記載されていたり、色によって区別されている地下鉄の路線図なども、路線名を示す記号が表記されていたりします。私たちは「色分けしてあればわかりやすい」という前提で物事を捉えがちですが、様々な色覚を持つ人に配慮して社会全体をデザインすることが大切なのです。

多様性を尊重し、人に優しい社会を描く。それが生活環境学部 環境デザイン学科。

オープンキャンパス開催
10/21(土)

強く、優しく。



金城学院大学